

原料費調整（スライド）制度に基づく 2026年4月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。お知らせいたします。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026年4月検針分に適用される従量料金単価を、2026年3月検針分に適用される従量料金単価に対し、1㎡あたり+13円76銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1か月のご使用量が20㎡）の場合、ガス料金は月額6,373円（税込）となり、275円（4.51%）お支払額が増加します。

※原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1㎡あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2025年11月～2026年1月のLNG、プロパンの平均原料価格を2025年11月の貿易統計確報値、2025年12月～2026年1月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は85,960円/t となります。2026年3月検針分のガス料金調整額を算定した2025年10月～12月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2025年11月～2026年1月の実績平均原料価格は、トンあたり2,030円上昇することとなります。また、政府の支援による値引き額が18.0円/㎡（税込）から6.0円/㎡（税込）に減額されますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>

●2026年4月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026年3月検針分の従量料金単価に対して、+13.76円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1m ³ あたり)	
			2026年4月	2026年3月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	1,215.61 円	281.84 円	268.08 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,694.11 円	233.99 円	220.23 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	10,576.83 円	181.74 円	167.98 円
D	500 m ³ を超える	12,721.83 円	177.45 円	163.69 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※政府の支援により 2026年4月従量料金単価は6.0円/m³（税込）、3月従量料金単価は18.0円/m³（税込）が値引きされています。

●2026年4月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が20m³）の場合

2026年4月適用料金 (a)	2026年3月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,373 円	6,098 円	+275 円	+4.51%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2021年～2025年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m³）

	2025.11～2026.1	2025.10～2025.12	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	85,940	83,930	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	79,770	77,210	95,050
平均原料価格(LNG換算)	85,960	83,930	97,170

■2025年11月～2026年1月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\ &= 85,940 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 79,770 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\ &= 85,960.759 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\ &= \underline{85,960 \text{ 円/t}} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 85,960 \text{ 円/t} - 97,170 \text{ 円/t} \\ &= -11,210 \text{ 円/t (100円未満四捨五入)} \\ &= \underline{-11,200 \text{ 円/t}} \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m³あたり)の算定

$$\begin{aligned} \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\ &= \{ -11,200 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.1 \} - \underline{6.0 \text{ 円}} \\ &= -15.856 \\ &= \underline{-15.86 \text{ 円/m}^3} \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、6.0円/m³（税込）が値引きされています。

	2026年4月	2026年3月	増減
調整額(円/m ³ ・税込)	-15.86	-29.62	+13.76

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL : 076-442-5020